

(2) 交流促進に向けた本協議会の 取組状況について

- ①平成 26 年度の協議会の取組成果について
- ②平成 27 年度以降の協議会の取組について

環瀬戸内海地域交流促進協議会 取組の進捗状況(平成27年11月末時点)

取組名称	取組内容(概要)	取組の進捗状況 (平成26年度)	取組の進捗状況 (平成27年11月末時点)	当面の取組 (平成27年度内)	当面の取組(案) (平成28年度)
【環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興】					
サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪 【愛媛県・広島県】	◇自転車道の整備 (統一された規格による整備)	◇各サイクリングコースにブルーライン等を整備 ・メロディーライン・タやけこやけラインコース【愛媛県】 ・遊子段畑・四万十源流コース【愛媛県・高知県】 ・四万十・足摺無限大チャレンジライドコース【高知県】 ・瀬戸内サイクリングロードネットワークの完成【広島県】 (しまなみ海道、とびしま海道、さざなみ海道、かぎしま海道)	◇統一されたサイクリングロード規格(ルール)について調整 (11/27に決定)	◇統一されたサイクリングロード規格(ルール)の策定 ◇SOS表示の整備【尾道市】 ◇推奨ルートを選定し、ルートを示すサインや案内看板等を 整備予定【岡山県】 ◇サイクリングコース選定のための協議会組織を設立し、 設定を行う【高知県】	◇統一されたサイクリングロード規格(ルール)での整備につ いて、関係機関との協議が整ったところから順次整備を実施
	◇利便性向上に向けた取組 (しまなみ海道自転車道無料化の継続) (サイクルスタンド・ベンチ等の設置)	◇しまなみ海道自転車道の通行料金無料化(H26.7～) 【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会 ・本四高速㈱】 ◇橋梁アプローチ道路にセーフティーマットを設置 【しまなみ海道自転車道利用促進協議会(広島県)】 ◇サイクルスタンドの設置 【しまなみ海道自転車道利用促進協議会(愛媛県側)】 ◇イベント時にルール・マナーの啓発 【瀬戸内しまなみ海道振興協議会】	◇しまなみ海道自転車道の通行料金無料化の継続 (～H28.3) 【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会 ・本四高速㈱】 ◇サイクルトレインの運行 【しまなみ海道自転車道利用促進協議会(愛媛県側)】	◇しまなみ海道自転車道の通行料金無料化を継続 【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会 ・本四高速㈱】 ◇サイクルスタンドの設置、ガイドの育成・拡充、 ルール・マナーの徹底に向けた啓発活動の実施 【しまなみ海道自転車道利用促進協議会】 ◇サイクルトレインの運行 【しまなみ海道自転車道利用促進協議会】 ◇「道の駅」にラック型駐輪場の整備予定【岡山県】	◇しまなみ海道自転車道の通行料金無料化を継続 ◇引き続き利便性向上事業を実施
	◇サイクリングに関する広報連携	◇各県のサイクリング大会の情報発信等の検討	◇協議会サイトの構成等について検討中	◇協議会サイトの情報発信内容について検討 ◇サイクリングに関するフェスで、しまなみ海道自転車道に関 する魅力を発信 【しまなみ海道自転車道利用促進協議会】	◇協議会サイトにて、サイクリングに関する情報発信
サッカー公式試合での交流促進 【愛媛県・広島県】	◇対戦相手同士の地域の観光・物産のPR	◇「PRIDE OF 中四国」のイベントに対し、協議会としての 連携企画を打診中	◇「PRIDE OF 中四国」のイベントに対し、協議会としての 連携企画を打診中 (下半期にPRIDE OF 中四国の会議を予定しており、その 際に関係者へ調整)	◇「PRIDE OF 中四国」及び関係自治体等と連携企画を協 議、目標を決定	◇対戦相手同士の地域の観光・物産のPR等交流人口の拡大 策を実施予定
【瀬戸内海の「海」の魅力発信】					
瀬戸内海国立公園ウォーク 【香川県・岡山県】	◇瀬戸内海国立公園の関係各県の展望地 等でウォーキングを実施 (香川県・岡山県を中心とした取組)	◇「2014春スカイツアー」の開催(参加者536人) ◇「2014秋スカイツアー」の開催(参加者527人) ◇「春の備讃瀬戸ウォーク」の開催 ◇「屋島ウォーク」の開催(参加者:197名) ※瀬戸内海国立公園ガイドマップ「屋島の自然」を発行し、 ウォーク参加者へ配布) ◇「瀬戸内倉敷ソーデーマーチ」の開催	◇「2015春スカイツアー」の開催 ◇「2015秋スカイツアー」の開催 ◇「国立公園ウォーク」の開催 ◇「第29回瀬戸内倉敷ソーデーマーチ」の開催向け準備中	◇参加者数の増加、交流人口の拡大	◇引き続き、香川県・岡山県を中心にウォーキングイベント等 を実施
	◇各県で開催するウォーキングイベントの 広報連携 (協議会HPで周辺の観光情報を発信)	◇ウォーキングイベントの開催地及び周辺地域の観光情報 の収集	◇各県ウォーキングイベントについて協議会HPを活用した 広報活動における連携に向け調整中(各県へ照会中) (HP開設後に掲載予定)	◇協議会HPの掲載情報、掲載基準及び範囲等の調整 ◇掲載情報の収集、更新、多言語化への対応	◇協議会HPのアクセス数増加及びウォーキングイベントの参 加者数増加
【環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化】					
歴史的遺産のネットワーク構築とPR 【高知県】	◇現存木造天守閣等の史跡の償還、モデル ルートの設定・PR	◇現存木造天守等の情報収集及びモデルルートやPR方法 の検討	◇現存木造天守等の情報収集及びモデルルートの設定 (11/27に決定) ◇モデルルートについてPR方法の検討 ◇PRのための広報資料を作成	◇モデルルートの設定及び協議会HP等でのPR ◇次年度以降の実施に向け、利用者への特典等の検討 ◇四国ツーリズム創造機構などと連携し、ツアーの売り込みを 開始	◇モデルルートの協議会HP等を活用した情報発信 ◇四国ツーリズム創造機構などと連携し、ツアーの売り込みを 継続
文化芸術ネットワークの推進 【高知県・本四高速】	◇文化芸術施設の紹介、モデルルートの 設定	◇モデルルート「文化芸術めぐり(仮称)」の対象施設を検討中 ※「モネの庭」マルモッタンについては、H27.4より「せとうち美 術館ネットワーク」に新たに参画	◇モデルルートについては検討中 ◇シルバー世代を対象とした美術館ツアーや、「瀬戸大橋と 芸術の秋」ツアーなどを実施予定	◇具体の施設紹介、モデルルートの提案等	◇定期的に施設紹介、モデルルートの設定等を実施
	◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実	◇利用金額に応じて図書カードをプレゼントする「せとうち美術 館めぐり応援キャンペーン」を継続実施	◇H27.10から新たに1施設が参画し、全59施設で実施中 ◇「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」を継続実施中	◇現状の取組の延長線上での充実を図る ◇「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」の継続	◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実や積極的な情報発信
【環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承】					
あつまれ「四国のへそ」とくどくフェア 【徳島県・兵庫県】	◇あつまれ「四国のへそ」とくどくフェアの開催	◇3月15日にフェアを開催 (愛媛県と香川県からB級グルメ出店) ◇フェアの継続的に開催が出来るよう検討	◇各県の伝統ある食材、トレンド食材の調査中 ◇フェアを継続的に開催出来るよう検討	◇食文化の発信・伝承に向けて、各県の伝統ある食材、 トレンド食材を調査・発信(パネル展の開催) ◇平成28年春頃のパネル展開催を目指す ◇フェアを継続的に開催出来るよう検討	◇引き続き、食文化の発信・伝承に向けて、各県の伝統ある 食材、トレンド食材を調査・発信 (各種イベントに合わせてパネル展等の開催) ◇フェアを継続的に開催出来るよう調整 (平成28年度の開催を予定)
	◇神戸淡路鳴門自動車道に連携強化事業 の実施	◇おどる宝島パスポートの兵庫県・徳島県の連携 ◇花みどりフェア淡路花博2015を開催	◇花みどりフェア淡路花博2015を開催 ◇大鳴門橋開通30周年記念事業の実施 ・徳島・淡路周遊キャンペーンの実施 ・食のブランド海峡ダービー、2橋まるごとウォークツアーを 開催し、徳島・兵庫両県の食をPR	◇花みどりフェア淡路花博、大鳴門橋開通30周年記念事業 の実施	◇おどる宝島パスポートの兵庫県・徳島県の連携を継続 (対象施設の見直し、拡充を図る)
【協議会で実施する情報発信について】					
協議会サイトの開設・運営	◇協議会・各県のHP等を活用し、これら情報 の積極的な発信	◇協議会ポータルサイトの原案作成	◇協議会ポータルサイトの原案作成済み	◇協議会ポータルサイトのアップに合わせ、情報を発信	◇協議会ポータルサイトにて、各種取組について情報発信

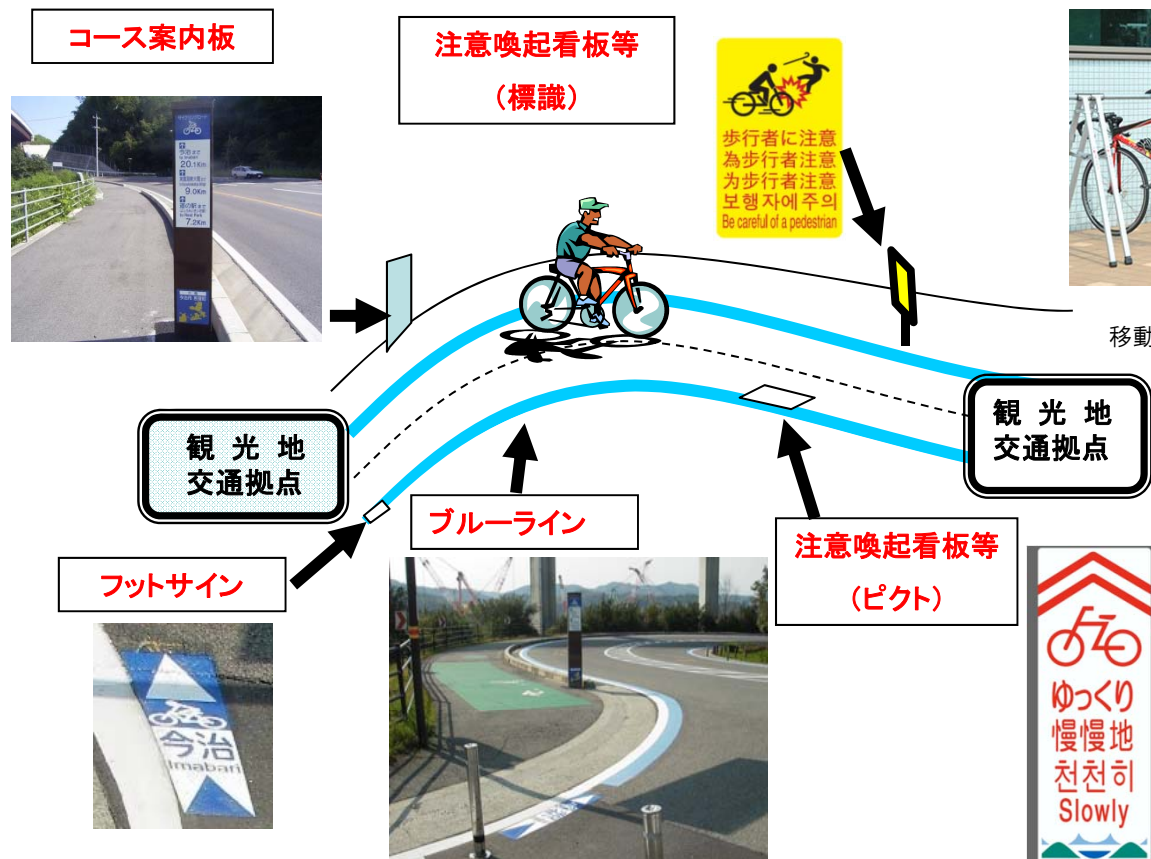
取組の概要

- ①環瀬戸内海地域における各県が推奨するサイクリングコースについて、統一された規格による安全で快適なサイクリング環境の整備を推進
- ②快適にサイクリングをしていただくため、利便性向上に向けた取組を実施（サイクルスタンドの設置 等）
- ③サイクリングに親しみ、地域間交流を促進させるため、サイクリングに関する広報連携を実施

①統一された規格によるサイクリングコースの整備

効果: 国内外のサイクリストが、迷わず、安全にサイクリング。

整備のイメージ



②利便性向上に向けた取組を実施

効果: サイクリストが、快適にサイクリング。

事業の例(サイクルスタンドの設置)



移動式サイクルスタンドの設置



固定式サイクルスタンドの設置

③サイクリングに関する広報連携

効果: サイクリングを中心とした地域間交流が図れる。

イメージ



【連携取組】サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪

取組の概要	【取組の概要】 ○安全で快適なサイクリング環境整備のため、ブルーライン、コース案内板、注意喚起看板など協議会の統一規格による整備。 ○快適にサイクリングをしていただくため、サイクルスタンド、ベンチ等の設置など利便性向上に向けた取組を実施。 ○サイクリングに親しみ、地域間交流を促進させるため、サイクリングに関する情報発信を実施。 【以下は、瀬戸内ブランド推進連合の取組】 ○各県が、地元市町村と連携するなど、風光明媚な箇所等を周遊できるサイクリングコースを設定。 ○サイクリストを広く国内外から呼び込むため、圏域全体のサイクリングマップやイベント情報を掲載したパンフレット等の作成、サービスサイトを開設し情報発信 【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】 ○各主体の既存の取組 ・愛媛マルゴト自転車道の展開【愛媛県・全20市町】 ・瀬戸内しまなみ海道自転車道の利用促進・利便性向上(自転車通行料金無料化等) 【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会・本四高速㈱】 ・海外との姉妹自転車道協定の締結(サイクリストの聖地化) 【瀬戸内しまなみ海道振興協議会・台湾サイクリスト協会】 ・瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会の実施 【瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会実行委員会】 ・サイクリングの聖地「瀬戸内」の実現のため、コースを選定、マップの作成 瀬戸内ポタリップ(サイクリングガイドブック)の発刊【瀬戸内ブランド推進連合】 ・自転車道サービスサイト開設【瀬戸内ブランド推進連合、各県】
取組の内容	◇サイクリングコースの整備 ・環瀬戸内海地域における自転車道について、統一された規格(ブルーライン、フットサイン、コース案内板、注意喚起看板)によるサイクリングコースの整備を推進。 ◇利便性向上に向けた取組 ・サイクルスタンド、ベンチ等の設置。 ・しまなみ海道自転車道の自転車通行料金無料化の継続。 【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会・本四高速㈱】 ◇サイクリングに関する広報連携 ・環瀬戸内海地域におけるサイクリングコースやサイクリング大会等について、HP等で情報発信
取組の進捗状況	◇サイクリングコースの整備 ・しまなみ海道をはじめとした瀬戸内サイクリングロード(しまなみ海道、とびしま海道、さざなみ海道、かきしま海道)においてブルーラインや案内標識などルート案内整備を実施し、ネットワークが完成 (平成26年4月)(広島県) ・遊子段畑・四万十源流コースにブルーラインを設置 (平成26年8月)(愛媛県・高知県) ・愛媛マルゴト自転車道の整備として、ブルーラインをメロディーライン・夕やけこやけラインコースの全線に設置するとともに、中上級8コースにおいて、コースの主要な交差点及び5km間隔、スタート・ゴール地点に設置 (平成26年10月)(愛媛県) ・四万十・足摺無限大チャレンジライドコース上にブルーラインを設置 (平成27年2月)(高知県) ・統一されたサイクリングロード規格(①ブルーライン②フットサイン③コース案内板④注意喚起看板等)について協議。(別紙参照)

◇利便性向上に向けた取組

- ・しまなみ海道自転車道無料化の開始（平成26年7月）
（広島県、愛媛県、しまなみ海道自転車道利用促進協議会、本四高速㈱）
- ・尾道市瀬戸田町の橋梁アプローチ道路において、セーフティーマットを設置
（広島県、しまなみ海道自転車道利用促進協議会）
- ・サイクルスタンドの設置（しまなみ海道自転車道利用促進協議会（愛媛県側））
- ・イベント時の配布物でのルール・マナーの啓発（しまなみ縦走）
（本四高速、瀬戸内しまなみ海道振興協議会）

◇サイクリングに関する広報連携

- ・HPの構成等について検討中

取組内容及び取組主体	H26年度	H27年度	H28～	目 標
	(ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる機関との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります)			
◇統一された規格によるサイクリングコースの整備	各県の既存取組を継続			○H26～27年度は現在実施中の整備を推進。 ○H27年度中に整備方針・実施方針の検討、各県毎に目標を設定するとともに関係機関との協議 ○H28年度以降は関係機関との協議が整ったところから整備を実施。 ○サイクリングに関する情報発信。
◇利便性向上に向けた取組	整備方針・実施方針の検討及び決定			
	・関係機関との協議 ・協議が整ったところは目標設定 ・協議が整ったところからコースの整備促進			
◇広報連携	各県の既存取組を継続			
	HP構成等の検討			HPによる情報発信
取組に関する当面の目標				

○平成27年度内の目標

◇サイクリングコースの整備

- ・統一された規格（ルール）の検討、調整・決定、関係機関との協議
- ・SOS表示の整備（尾道市）
- ・県内の優れた景観地や観光施設をサイクリングで結ぶ推奨ルートを選定し、ルートを示すラインや案内看板等を整備する予定（岡山県）
- ・県内のサイクリングコースを設定するための協議会組織を立ち上げ、サイクリングコースの設定を行う。（高知県）

◇利便性向上に向けた取組

- ・しまなみ海道自転車道の自転車通行料金の無料化の継続
（広島県、愛媛県、しまなみ海道自転車道利用促進協議会、本四高速㈱）
- ・サイクルスタンドの設置（しまなみ海道自転車道利用促進協議会（広島県））
- ・おもてなし事業の実施（しまなみ海道自転車道利用促進協議会（広島県））
- ・サイクルトレインの運行（しまなみ海道自転車道利用促進協議会（愛媛県側））
- ・マナーアップ講習会の実施（しまなみ海道自転車道利用促進協議会（広島県・愛媛県側））
- ・県内の道の駅にラック型駐輪場を整備するなど取組を進める予定（岡山県）

◇サイクリングに関する広報連携

- ・HPの情報発信内容について検討
- ・サイクリングに関するフェスでしまなみ海道自転車道に関する魅力発信（しまなみ海道自転車道利用促進協議会）

○平成28年度内の目標

◇サイクリングコースの整備

- ・統一されたサイクリングロード規格（ルール）での整備について、関係機関との協議が整った所から順次整備を実施

◇利便性向上に向けた取組

- ・しまなみ海道自転車道の自転車通行料金の無料化の継続
（広島県、愛媛県、しまなみ海道自転車道利用促進協議会、本四高速㈱）
- ・引き続き利便性向上事業を実施

◇サイクリングに関する広報連携

- ・協議会サイトにて、サイクリングに関する各種情報発信

取組に関する
課題・問題点

- ・統一されたサイクリングロード規格（ルール）での整備については、関係機関（警察など）との協議が必要。

主担当

愛媛県

副担当

広島県

サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪



統一されたサイクリングロード規格(案)

- ・環瀬戸内海地域で**統一されたサイクリング規格(案)**により、サイクリングロードの整備を推進



①ブルーラインの規格を統一

- ・国内外のサイクリストが、**迷わず安心してサイクリング**

〈整備のイメージ〉



各県で推奨するサイクリングロードについて幅20cmを基本として外側線の横に設置

②フットサインの規格を統一

- ・目的地までの方向が**わかり**、安心してサイクリング

〈整備のイメージ〉



各県で推奨するサイクリングロードについて、必要に応じて行先方向を標示したものを設置(必要に応じて距離標を追加)

③コース案内板の設置を推奨

- ・自分の走行している位置から**休憩施設やトイレ**が**わかり**、楽しくサイクリング

〈整備のイメージ〉



各県で推奨するサイクリングロードの沿線に、必要に応じて設置することを推奨(サイクリングルート、休憩施設、トイレの記載を推奨)

④注意喚起看板等の設置を推奨

- ・走行中の**危険箇所等**について**注意喚起**することで安心安全にサイクリング

〈整備のイメージ〉



各県で推奨するサイクリングロードの注意喚起箇所に必要に応じて設置することを推奨

取組の概要

環瀬戸内海圏域にホームタウンをおくサッカーチーム間の試合において、対戦相手同士の地域の観光・物産のPR等交流人口の拡大策を実施

地域の観光・物産のPR

効果:PRした箇所に訪問してもらうきっかけとなる。

イメージ



試合会場で“阿波踊り”をPR



試合会場で宇和島（愛媛県）の観光地をPR

サッカー（公式試合）による交流



試合会場で地域の物産をPR

【連携取組】サッカー公式試合での交流促進

取組の概要				
【取組の概要】 ○環瀬戸内海圏域には、サッカーのJ1チームが2県（兵庫県、広島県）、J2チームが4県（岡山県、徳島県、香川県、愛媛県）にあり、各試合に県内外から多くの観客が訪れていることから、更なる観客の呼び込みを行うことにより、地域間交流の拡大を図る。 ○対戦相手同士の地域の観光・特産のPRを実施。 【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】 ○各主体の既存の取組 ・PRIDE OF 中四国【岡山県、香川県、徳島県、愛媛県、鳥取県、山口県】				
取組の内容				
◇対戦相手同士の地域の観光・物産のPR ・試合の対戦相手同士の地域の観光・物産をPRするためのブース等を設け、PRを実施 （当面は、PRIDE OF 中四国に対する支援を予定）				
取組の進捗状況				
◇対戦相手同士の地域の観光・物産のPR ◇記念品等の贈呈企画 ・PRIDE OF 中四国のイベントに対し、協議会としての連携企画を打診。				
取組内容及び取組主体	H26年度	H27年度	H28～	目 標
（ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる機関との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります）				
◇対戦相手同士の地域の観光・物産のPR ◇記念品贈呈企画				○H26～27年度は現在実施中の取組を推進するとともに連携した取組内容を検討、目標を決定する。 ○H28年度以降は、連携した取組を実施
取組に関する当面の目標				
○平成27年度内の目標 ◇対戦相手同士の地域の観光・物産のPR ・PRIDE OF 中四国及び関係自治体と連携企画を協議、目標を決定。				
○平成28年度内の目標 ◇対戦相手同士の地域の観光・物産のPR等交流人口の拡大策を実施				

取組に関する 課題・問題点	
○取組に関する課題・問題点及び対応(案) ・支援実施内容について、各サッカークラブの了解が必要であり、時間をかけて協議する必要がある。 ・実施に要する予算の確保	
主担当 副担当	愛媛県 広島県

取組の概要

- 日本で最初の国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の関係各県の展望地等でウォーキングを実施する。
- 瀬戸内海の魅力体験に繋がる各県のウォーキングイベントを、協議会のホームページにまとめて掲載し、環瀬戸内海交流促進協議会として一体的にPRする（広報連携）。
- 各地域のウォーキング協会等に協力を仰ぎ、自然や歴史、見どころなどをガイドしながら瀬戸内海国立公園により親しんでいただくとともに、協議会ホームページ上に地域情報（観光・宿泊情報等）を提供することで観光・宿泊を含めた参加プランを提案する。

既存の取組(事例)

●屋島ウォーク(毎年3月16日開催)

瀬戸内海国立公園が指定された3月16日に毎年開催。第6回となるH27年は197名が参加。瀬戸内海国立公園ガイドマップ「屋島の自然」を発行し、ウォーク参加者に配布。



●瀬戸大橋スカイツアー(毎年春・秋2回開催)

瀬戸大橋をより身近に体験し瀬戸内海のパノラマ風景を堪能してもらうため、普段立ち入ることのできない管理用通路や海面から175mの塔頂に、一般の当選者600名を案内。



新規の取組

●協議会HP等を活用した広報連携

各県にて開催されるウォーキングイベントから瀬戸内海の魅力体験に繋がるものを取り上げ、HP掲載等の広報手段を活用し、協議会として一体的にPRする。



【連携取組】瀬戸内海国立公園ウォーク

取組の概要	【取組の概要】 ◇香川県・岡山県における取組み(単県) ・日本で最初の国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の関係各県の展望地等でウォーキングを実施する。 ・各地域のウォーキング協会等に協力を仰ぎ、自然や歴史、見どころなどをガイドしながら、瀬戸内海国立公園により親しんでいただく。 ◇連携した取組み(広報連携) ・各県で開催されるウォーキングイベントについて、瀬戸内海の魅力体験に繋がるものを取り上げ、協議会HPで広報するとともに、協議会構成団体が相互に連携して一体的にPRすることで、更なる集客を図る。 ◇その他 ・周辺の観光情報を掲載し、イベント参加者に対して観光を含めた参加プランを提案することにより、周辺地域の交流人口拡大に貢献する。
取組の内容	◇香川県・岡山県における取組み(単県) 【両 県】：「2015春スカイツアー(平成27年5月16、17、23、24日)」 ⇒実施済み 「2015秋スカイツアー(平成27年10月17、18、24、25日)」 ⇒実施済み 【香川県】：「国立公園ウォーク(平成27年11月21日)」 ⇒実施済み 【岡山県】：「第29回瀬戸内倉敷ツーデーマーチ(平成28年3月12～13日)」 ⇒開催準備中 ◇連携した取組み(広報連携) ・各県に対する照会の結果、以下のウォーキングイベントについて広報連携 【岡山県】：「第29回瀬戸内倉敷ツーデーマーチ(平成28年3月12～13日)」 【広島県】：「第16回瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ(平成28年10月)」 「神峰山ウォーク(平成28年5月)」 「えたじまウォーキング(平成28年3月)」 「坂町悠々健康ウォーキング大会(平成28年3月)」 【香川県】：「屋島ウォーク(毎年3月16日に開催)」 「てくてくさぬき(通年)」 【高知県】：「第12土佐よさこいツーデーウォーク(平成28年10月)」 「第12回龍馬ゆかりのみちツーデーウォーク(平成28年11月)」 等 ・各県及び本四高速(株)が実施する瀬戸大橋への塔頂ツアー等について広報連携 「瀬戸大橋スカイツアー(平成28年5月、10月)」 「2橋まるごとウォークツアー(平成28年10月)」 「明石海峡海上ウォーク(平成28年11月)」 等 ◇その他 ・ウォーキングイベントの開催地及び周辺地域の観光情報の発信
取組の進捗状況	◇香川県・岡山県における取組み(単県) ・上記(取組の内容)参照 ◇連携した取組み(広報連携) ・掲載候補となるウォーキングイベントについて、各県に対して照会済み。 ・協議会HPの開設後、ウォーキングイベントを掲載する予定。 ◇その他 ・ウォーキングイベントの開催地及び周辺地域の観光情報を収集

取組内容及び取組主体	H26年度	H27年度	H28～	目 標
	(ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります)			
◇瀬戸内海国立公園の関係各県の展望地等でウォーキングを実施 香川県・岡山県を中心とした取組 ◇各県で開催するウォーキングイベントの広報連携 【取組主体】 兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	各県の既存取組を継続			○H27年度上期は各県調整。 ○H27年度下期は連携実施。
取組に関する当面の目標	○平成27年度内の目標 ◇香川県・岡山県における取り組み(単県) ・参加者数の増加 ◇連携した取り組み(広報連携) ・協議会HPの掲載イベント、掲載基準及び範囲等の調整 ・イベント情報の収集、更新、多言語化への対応 ・参加者数の増加 ◇その他 ・ウォーキングイベントの開催地及び周辺地域の観光情報の収集 ・交流人口の拡大 ○平成28年度内の目標 ・ウォーキングイベントの継続実施 ・協議会HPのアクセス数増加、及びウォーキングイベントの参加者数増加			
取組に関する課題・問題点	◇連携した取り組み(広報活動) ・主催団体、後援団体に対する掲載許可の取得 ・協議会HPの運営管理 ・掲載情報の更新及び多言語化への対応			
主担当	香川県			
副担当	岡山県			

取組の概要

- 環瀬戸内海地域の現存する木造天守やその近隣の史跡などの歴史的遺産を巡るモデルルートを設定。
- 協議会や各県のHP等で広く発信することにより、環瀬戸内海地域の交流人口の拡大を図る。



【現存天守6城と城主ゆかりの地を1泊2日で巡る旅】

■凡例

- 城: 現存天守が残る城
- 城: 城跡、復元天守等
- 城: 城主ゆかりの地

◆モデルコース①

【1日目】

中国自動車道「中国池田IC」＝(中国自動車道→山陽自動車道)＝
姫路城＝(山陽自動車道→瀬戸中央自動車道)＝**丸亀城**＝
 (高松自動車道→高知自動車道)＝高知市泊

【2日目】

宿泊地＝**高知城**＝(高知自動車道→徳島自動車道)＝
徳島城跡(徳島城博物館)＝(徳島自動車道→神戸淡路鳴門自動車道)＝
洲本城跡＝(神戸淡路鳴門自動車道→中国自動車道)＝「中国池田IC」

◆モデルコース②

【1日目】

中国自動車道「中国池田IC」＝(中国自動車道→岡山自動車道)＝
備中松山城＝(岡山自動車道→山陽自動車道)＝**福山城**＝(西瀬戸自動車道)＝
今治城＝松山市泊

【2日目】

宿泊地＝**伊予松山城**＝(松山自動車道→宇和島道路)＝
宇和島城＝(宇和島道路→松山自動車道)＝**大洲城**＝
 (松山自動車道→瀬戸中央自動車道→中国自動車道)＝「中国池田IC」

【その他の地域の現存天守】

- ・国宝指定
 松本城(長野県)、犬山城(愛知県)、彦根城(滋賀県)、松江城(島根県)
- ・重要文化財指定
 弘前城(青森県)、丸岡城(福井県)

発信

協議会・各県HP



パンフレット



SNS



(情報発信ツールやスタンプラリー等のイベントの実施については今後検討を行う。)

1泊2日で

姬路城



※地図精査中

環瀬戸内海地域の現存天守6城

姫路城(兵庫県)



- 開城時間：午前9時～午後4時(閉門は午後5時)
※4/27～8/31は午前9時～午後5時
(閉門は午後6時)
- 休城日：12月29日、30日
- 料金：大人(18歳～) 1,000円
小人(小、中、高) 300円
- HP：http://www.city.himeji.lg.jp/guide/castle.html
- 問合せ先：079-285-1146(姫路城管理事務所)
- 駐車場：大手門駐車場(有料)ほか
- アクセス：播但連絡道路・花田ICから約15分
国道2号姫路バイパス姫路・南ランプ
から約15分

奈良の法隆寺とともに日本初の世界文化遺産に登録された姫路城。白漆喰塗籠造の白壁から「白鷺城」の名で親しまれ、シラサギが羽を広げたような優雅な姿で街を見下ろしている。

現在の姫路城は、慶長14(1609)年に建築されたものであるが、平成21年度から26年度まで、姫路城大天守保存修理事業(平成の修理)によって建築時の美しい姿が再現されている。

QR ※城主ゆかりの地やゆかりの品々の展示施設等を記載予定

丸亀城(香川県)



- 開館時間：午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- 休館日：無休
- 料金：大人200円、小人(小中学生)100円
- 問合せ先：0877-24-0331(丸亀市観光協会)
- HP：http://www.city.marugame.lg.jp/sightseeing/spot/01.html
- 駐車場：丸亀城内、資料館南側(無料)ほか
- アクセス：高松自動車道・普通寺IC・坂出ICから約20分

高さ日本一の石垣に鎮座して400年の歴史を刻む丸亀城。内堀から天守にかけて4層に積み重ねられた石垣は、約60メートルと日本一の高さを誇り、「扇の勾配」と呼ばれる特徴的で見事な曲線を描く。

近世城郭は豊田秀吉政権下に讃岐17万石を与えられた生駒正親が慶長2(1597)年、高松城の支城として築いたことが始まり。暗色の石垣と鮮やかなコントラストを奏でる白亜の天守は、全国でも珍しい木造天守である。

QR ※城主ゆかりの地やゆかりの品々の展示施設等を記載予定

宇和島城(愛媛県)



- 開館時間：4月～9月 午前9時～午後5時
10月～3月 午前9時～午後4時
- 休館日：無休
- 料金：大人200円、小人(小中学生)100円
- 問合せ先：0895-49-7033
(宇和島市文化・スポーツ課)
- HP：http://www.city.uwajima.ehime.jp/site/uwajima-jo/uwajima.html
- 駐車場：城山下駐車場(有料)
- アクセス：一般国道56号宇和島道路・宇和島朝日ICから車で約4分

宇和島湾に面した場所に不等辺五角形の縄張りで築かれ、築城の名手と名高い藤堂高虎による優れた築城術が活かされた堅城であった。

巨大な石垣を横目に急な石段を登って行くと、山頂には当時のままの三層三階の天守が鎮座する。天守内部は木の味わいが残り、遠く宇和島湾と宇和島の町並みを一望できる。

QR ※城主ゆかりの地やゆかりの品々の展示施設等を記載予定

徳島城跡(徳島県)

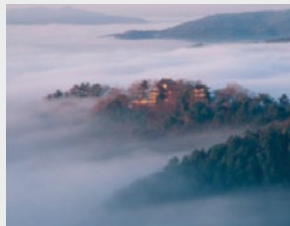


- 徳島城博物館
- 開館時間：午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日：月曜日(祝日の場合は開館)
祝日の翌日(日曜・祝日の場合は開館)
年末年始(12月28日～1月4日)
- 料金：一般300円、高校生・大学生200円
中学生以下無料
- 問合せ先：088-656-2525(徳島城博物館)
- 駐車場：徳島中央公園東側駐車場(有料)
- アクセス：徳島自動車道・徳島ICより車で約10分

○HP：http://www.city.tokushima.tokushima.jp/johaku/index.shtml

徳島市の中央にそびえる城山は、形がイノシシに似ることから「猪の山」といわれ、また、その地勢が中国の渭水の風景に似ているので「渭津」とも名付けられた。この城は細川頼之が築城したが、その後、三好・長宗我部を経て天正13(1585)年に蜂須賀家政が入り、これを修築し阿波の本拠となった。南東に、復元された鷲の門や木橋に架け替えられた数寄屋橋、徳島城博物館などから、昔日の面影をしのぶことができる。

備中松山城(岡山県)



- 開城時間：4月～9月 午前9時～午後5時30分
10月～3月 午前9時～午後4時30分
- 休城日：12月29日～1月3日
- 料金：大人300円、小人(小、中、高)150円
- HP：http://takahasikanko.or.jp/
- 問合せ先：0866-22-1487(松山城管理事務所)
- 駐車場：城見橋駐車場(無料)
駐車場から有料のシャトルバス運行
- アクセス：岡山自動車道・箕陽ICから車で20分
標高430mの臥牛山頂上付近に建つ天守は、国の重要文化財で、現存天守を持つ山城としては最も高い所にあり、「日本三大山城」にも数えられる。鎌倉時代、秋庭重信が大松山に城を築いたのを起源とし、天和3(1683)年に水谷勝宗によって3年がかりで修築され、今の天守の姿となった。

登城坂の周囲は、高さ10m以上の巨大で切り立った岩壁がそびえ、「難攻不落の名城」の面影を感じられる。白い漆喰塗りの壁と黒い腰板のコントラスト、空の青に映える美しい天守。秋には大手門跡付近の木々が紅葉し、岩壁が燃えるような朱色に覆われる景色は圧巻。

QR ※城主ゆかりの地やゆかりの品々の展示施設等を記載予定

伊予松山城(愛媛県)



- 開城時間：2月～7月 午前8時30分～午後5時30分
9月～11月 午前8時30分～午後6時
8月 午前8時30分～午後5時
12月～1月 午前8時30分～午後5時
- 休城日：12月第3水曜日
- 料金：大人510円、小人(小学生)150円
- 問合せ先：089-921-4873(松山城総合事務所)
- HP：http://www.matsuyamajo.jp/
- 駐車場：松山城駐車場(有料)
- アクセス：松山自動車道・松山ICから車で約20分

日本で最後の完全な城郭建築(桃山文化様式)として、21棟の建造物が国の重要文化財に指定。大天守、小天守、隅櫓を互いに結び、武備に徹した天守建造物群は「日本三大連立式平山城」に数えられる。

司馬遼太郎著『坂の上の雲』の序文で文学都市松山の象徴として描かれるなど、松山市のシンボルとして親しまれている。

QR ※城主ゆかりの地やゆかりの品々の展示施設等を記載予定

高知城(高知県)



- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休館日：12月26日～1月1日
- 料金：大人(18歳以上)420円、18歳未満無料
- 問合せ先：088-824-5701(高知城管理事務所)
- HP：http://kochipark.jp/kochijyo/
- 駐車場：高知公園駐車場(有料)
- アクセス：高知自動車道・高知ICから車で約15分

日本で唯一本丸の建築群が全て現存する近世城郭。「日本三大夜城」の一つ。

もともとこの場所には南北朝時代に築

かれた大高坂城があり、戦国時代には長宗我部元親が岡豊城より移り居城としていた。

しかし、治水に難儀し、わずか3年で元親は本拠を浦戸へ移転。その後関ヶ原の戦いの功績で入国した山内一豊がこの地を城地と定め、慶長6(1601)年秋から築城をはじめた。享保12(1727)年の大火で一部の建物を残し消失。現在の天守は20年以上の歳月をかけて再建されたもの。

QR ※城主ゆかりの地やゆかりの品々の展示施設等を記載予定

ここにも寄りたい!道中のお城

- 開館時間：9月～3月 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
4月～8月 午前9時～午後6時30分(入館は午後6時まで)
- 休館日：月曜日(休日の場合は翌日)、年末12/28～12/31
- 料金：大人200円(高校生以下無料)※特別展期間は別途定めます
- 問合せ先：084-922-2117(福山城博物館)
- 駐車場：ふくやま美術館、ふくやま文学館駐車場(無料)
- アクセス：山陽自動車道・福山西ICもしくは福山東ICから車で約20分

○HP：http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyamajo/

徳川幕府から西国鎮護の拠点として、譜代大名水野勝成が元和5(1619)年備後10万石の領主として入府し築いた城。明治6(1873)年に廃城となり、本丸を除いた敷地のほとんどが売却され農地や宅地に転用された。更に昭和20(1945)年8月の空襲により天守と御湯殿も焼失。その後昭和41(1966)年の秋に市制50周年事業として天守と御湯殿、月見櫓が復元され、天守は福山市の歴史を伝える博物館として藩主の書画・甲冑などを展示。

福山城(広島県)



QR

【連携取組】歴史的遺産のネットワーク構築とPR

取組の概要	【取組の概要】 ○環瀬戸内海地域に存在する現存木造天守を紹介し、それらを巡るモデルルートを設定する。 また、現存木造天守やルートの近隣にあるその他の史跡や土木遺産等を併せて紹介することでルートを充実させ、歴史的遺産のネットワークを構築する。 ○本取組において、協議会や各県のHP、パンフレット等を活用したPRにより、広く情報発信を行い、環瀬戸内海地域内外からの交流人口の拡大を図る。 【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】 ○全国に現存する木造天守は12箇所あり、そのうち6箇所が本州と四国の環瀬戸内海地域に存在している。 そのためこれらを巡る本州・四国を結ぶルートの設定が可能であり、交流人口の拡大が見込まれる。 ○各主体の既存の取組 ・四国ツーリズム創造機構による観光情報発信（徳島・香川・愛媛・高知） 様々なテーマごとに主要観光地などを巡るコースを設定し、HPなどで紹介 ・四国歴史文化道（徳島・香川・愛媛・高知） 四国内で11箇所の歴史的テーマを持つモデル地域を設定し、主な歴史的文化遺産などを紹介			
取組の内容	◇現存木造天守等の史跡の紹介、モデルルートの設定、PR ・環瀬戸内海地域に存在する現存木造天守や史跡等を巡るモデルルートを設定 ・モデルルートのマップやパンフレットを作成し配布、また、協議会や各県のHP等で公開することにより広く情報発信を行う。 ・情報発信のツールやスタンプラリーなどのイベントの実施については今後取組の中で検討を行う			
取組の進捗状況	◇現存木造天守等の史跡の紹介、モデルルートの設定、PR ・現存木造天守等の情報収集やモデルルートの設定及び各県との調整 ・モデルルートPR方法の検討 ・PRのための広報資料（案）を作成			
取組内容及び取組主体	H26年度	H27年度	H28～H30年度	目 標
	（ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります）			
◇歴史的遺産ネットワークの構築とPR 【取組主体】 兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県		実施方針の検討及び各県との調整	各県と連携して取組を実施	○H26～H27年度は、各県と調整しながら実施方針や内容の検討、取組の実施 ○平成28年度以降は各県と連携して取組を実施

取組に関する 当面の目標	○平成27年度内の目標 ◇現存木造天守等の史跡の紹介、モデルルートの設定、PR ・モデルルートの設定及び協議会HP等でのPR ・次年度以降の実施に向け、利用者への特典等も併せて検討 ・四国ツーリズム創造機構などと連携し、ツアーの売り込みを開始 ○平成28年度内の目標 ◇現存木造天守等の史跡の紹介、モデルルートの設定、PR ・モデルルートの設定及び協議会HP等でのPR ・四国ツーリズム創造機構などと連携し、ツアーの売り込みを継続
取組に関する 課題・問題点	◇現存木造天守等の史跡の紹介、モデルルートの設定、PR ・次年度以降の協議会HPやその他PRに要する費用についての予算確保
主担当 副担当	高知県

取組の概要

- 様々な着眼点で文化芸術施設等の紹介、並びにモデルルート[文化芸術めぐり(仮称)]の設定により、文化芸術の輪の拡大(etc 高知県北川村のモネの庭⇄直島地中美術館のモネ)
- 本四高速が実施している「せとうち美術館ネットワーク」を活用・充実し、環瀬戸内海地域の文化芸術のネットワーク化を支援

「文化芸術めぐり(仮称)」

- 様々な着眼点で文化芸術施設等の紹介、モデルルートを設定し、環瀬戸内海地域における文化芸術の輪を拡大し、交流人口の拡大を図る。

【例えば、キーワード「モネ」】

モネの庭マルモッタン(高知県北川村)

- モネの想いも含めジヴェルニーにある「モネの庭」を、高知の自然の中で再現した「北川村モネの庭マルモッタン」
(北川村モネの庭マルモッタンHPより)



両施設の紹介並びにモデルルートの設定

地中美術館(香川県直島)

- モネ、デ・マリア、タレルの3作家の作品を恒久展示
- モネが晩年に描いた「睡蓮」シリーズは、絵画と展示空間を一体とするように配慮し展示
- モネが造園したジヴェルニーの庭に植えたとされる草木や樹木を配置した「地中の庭」
(地中美術館HPより)

「せとうち美術館ネットワーク」の充実

- 本四高速が実施している「せとうち美術館ネットワーク」を活用・充実し、文化芸術ネットワーク化の支援

【せとうち美術館ネットワーク】

- 平成20年10月より、瀬戸内地域の文化芸術面の魅力発信の支援を目的に発足(当初6施設 → 現在59施設)
- 現在、観覧料を実質5割引とする「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」を実施中



せとうち美術館ネットワーク
Setouchi Museum Network
橋を渡ってふれあうアートの世界。

「アートを見よう。アートを語ろう」
子どものアート感想文募集!

小学生～中学生が対象
参加者全員へプレゼント
「アートを見よう。アートを語ろう」の感想文を募集し、選定された作品は、美術館の展示スペースに展示し、そのお礼として、美術館グッズをプレゼント!

三大特典のご案内

- 共通割引券**
付属の共通割引券で、全ての参加施設が割引に!
- スタンプラリー**
「美術館めぐり」が楽しくなるスタンプラリーです。選定者には美術館グッズをプレゼント!
- せとうち美術館めぐり応援キャンペーン**
「共通割引券」を利用して購入したチケットを、観覧料金に充て、図書カードをプレゼント!

共通割引券・スタンプラリー応募用紙は、せとうち美術館ネットワーク事務局にて発行しています。
せとうち美術館めぐり応援キャンペーン応募用紙は、専用チラシにて発行しています。

【連携取組】文化芸術ネットワークの推進

取組の概要	【取組の概要】 ○様々な着眼点で文化芸術施設等の紹介、並びにモデルルート[文化芸術めぐり(仮称)]を設定することで、環瀬戸内海地域に文化芸術の輪を広げ、交流人口の拡大を図る。 ○本四高速が実施している「せとうち美術館ネットワーク」を活用し、環瀬戸内海地域の文化・芸術のネットワーク化を支援。現在、59施設で構成されている「せとうち美術館ネットワーク」をさらに充実し、文化芸術をキーワードとした環瀬戸内海地域の文化芸術の輪を広げる。 ○本取組は、協議会・各県のHP等を活用したPRにより、環瀬戸内海地域を中心に広域での広報活動を実施。 【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】 ○環瀬戸内海地域には世界に誇れる美や文化があり、そのポテンシャルは高く、これらを有効活用することで交流人口の拡大につながる環境にある。 ○「せとうち美術館ネットワーク」【本四高速・参加美術館、博物館(全59施設)】 ・美術館めぐりモデルコース等の実施 ・共通割引券、スタンプラリーを実施中 ・観覧料を実質5割引程度にする「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」を実施中
取組の内容	◇文化芸術施設の紹介、モデルルートの設定 ・様々な着眼点で文化芸術施設等を紹介するとともに、各所を巡るモデルルート「文化芸術めぐり(仮称)」を定期的に設定し、環瀬戸内海地域における文化芸術に関する情報を積極的に発信することで、環瀬戸内海地域の交流人口の拡大を図る。 ・スタンプラリーなどを絡めた記念品贈呈なども検討。 ◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実 ・現在実施中の「せとうち美術館ネットワーク」をさらに充実し、環瀬戸内海地域の文化芸術の輪を拡大。 ◇協議会・各県のHP等を活用し、これら情報の積極的な発信
取組の進捗状況	◇文化芸術施設の紹介、モデルルートの設定 ・各所を巡るモデルルート「文化芸術めぐり(仮称)」については、対象となる施設等を検討中。なお、北川村「モネの庭」マルモッタンについては、平成27年4月より「せとうち美術館ネットワーク」に新たに参画。 ・シルバー世代を対象とした美術館ツアー「瀬戸大橋と芸術の秋」を実施。 ◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実 ・平成27年10月から、新たに1施設が加わり、全59施設で実施中。 ・利用金額に応じて図書カードをプレゼントする「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」は実施中。 ◇協議会・各県のHP等を活用し、これら情報の積極的な発信

取組内容及び取組主体	H26年度	H27年度	H28～	目 標
	(ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります)			
◇文化芸術施設のモデルルートの設定紹介	各県毎または連携してモデルルート「文化芸術めぐり(仮称)」の設定 スタンプラリーなどを絡めた記念品贈呈なども検討			○H27年度以降は定期的に施設紹介、モデルルートの設定等を実施。
◇せとうち美術館ネットワーク充実	「せとうち美術館ネットワーク」の充実			○H27下半期は、59施設で展開。観覧料を割引するキャンペーンを実施中。
◇HP等を活用した情報発信	「文化芸術めぐり(仮称)」を積極的に発信			
取組に関する当面の目標	○平成27年度内の目標 ◇文化芸術施設の紹介、モデルルートの設定 ・具体の施設紹介、モデルルートの提案等の実施 ◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実 ・現状路線の延長線上で充実を図る ・現在、59施設で実施中 ・「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」等も継続して実施中 ◇協議会・各県のHP等を活用し、これら情報の積極的な発信 ・協議会サイトのアップに合わせ、上記の情報を発信 ○平成28年度内の目標 ◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実や積極的な情報発信 など			
取組に関する課題・問題点				
主 担 当	高知県			
副 担 当	本四高速道路(株)			

あつまれ「四国のへそ」とくとくフェア(仮称)【環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承】 【徳島県・兵庫県】

取組の概要

- 「四国のへそ」吉野川ハイウェイオアシスにおいて、「徳島マルシェ」と各県の「道の駅」自慢の逸品等が参集
- 県外の「道の駅」の関係者にも声をかけ、環瀬戸内海地域の交流の場に「四国のへそ」を活用
- 会場での完結型ではなく、環瀬戸内海地域の各種イベント参加(徳島マラソン、淡路花博他)に、結びつく仕掛けを展開
- 海峡「食のダービー」や「食のおもてなし」など食を中心とした広報事業を実施

あつまれ「四国のへそ」とくとくフェアの開催

- ・環瀬戸内海地域(兵庫県・岡山県・広島県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県)の協力可能な「道の駅」等の自慢の逸品が参集するフェアを開催し、環瀬戸内海地域における食文化の情報発信をするとともに、平成26年度末に開通した新たな高速交通ネットワーク徳島自動車道の全通効果を実感

【参考】

神戸・鳴門ルートを中心とした連携事業を実施することにより、環瀬戸内海地域交流の促進

連携1

淡路花博2015花みどりフェア

- ・「淡路まんぷく食堂」「ひょうご五国のめぐみキッチンスタジアム 美食の饗宴」等

連携2

大鳴門橋開通30周年記念事業

- ・海峡「食のダービー」



マチ★アソビ
(アニメイベント)



- 各種イベントの集客に、各地域の自慢の逸品の情報発信ができて一石二鳥
- 環瀬戸内海地域で、様々な視点で、情報発信することにより、個人旅行者の需要喚起で、さらに交流人口増
- 継続することにより、注目が集まり、国内外からの集客が見込まれる

- 物販による食文化等の発信
- 新たな食文化「とくしまオムライス」の発信
- 徳島自動車道の開通効果やストック効果などをパネル展示により情報発信・啓発

あつまれ『四国のへそ』とくとかフェア

『吉野川ハイウェイオアシス』 平成27年3月15日(日) 9:00-15:00

- とくしまマルシェ(物販による食文化等の発信)
カフェ, とくしまバーガー, パン, スイーツ, 服飾雑貨, 物産等10店



参加者 約2千人!

- とくしまオムライス・プロジェクト(新たな食文化の発信)
徳島市内のレストラン2店による実演試食

3月15日(日) 9:00-15:00 あつまれ「四国のへそ」とくとかフェア

吉野川ハイウェイオアシス(徳島自動車道[吉野川SA]隣接)

★オーガニック野菜とチキンのオムライス
提供: ピッツェリアカフェ グラシー(徳島市応神町)



★カルボナーラ風オムライス「オムカルボ」
提供: Fiotto(徳島市寺島本町)



- 徳島自動車道開通スタンプラリー
(高速道路開通やストック効果等をパネル展示で情報発信・啓発)
- ◎最終日の3月29日(日)しんまちボードウォークで抽選



パネル展



3週開催合計
1万人の人出で
賑わいました!



道の駅を活用し情報発信

『藍ランドうだつ』 平成27年3月21日(土) 9:00-15:00

- とくしまマルシェ(物販による食文化等の発信)
カフェ, パン, スイーツ, 服飾雑貨, 物産等12店

参加者 約3千人!



キッズパーク



- とくしまオムライス・プロジェクト(新たな食文化の発信)
徳島市内のレストラン2店による実演試食

3月21日(土)祝 9:00-15:00

道の駅 藍ランドうだつ(徳島自動車道[脇田IC]より約7分)

★ひき肉と「じいじのきのみ」オムライス
提供: Bar & restaurant Anji(徳島市東大工町)



★金時餅のトンボロ・オムライス
提供: cafe & bar NOLO(徳島市秋田町)



- 徳島自動車道開通スタンプラリー
(高速道路開通やストック効果等をパネル展示で情報発信・啓発)
- ◎最終日の3月29日(日)しんまちボードウォークで抽選



パネル展



『とくしまマルシェ in しんまちボードウォーク』

平成27年3月29日(日) 9:00-15:00

- とくしまマルシェ(物販による食文化等の発信)
- とくしまオムライス・プロジェクト(新たな食文化の発信)
- 徳島自動車道開通スタンプラリー
(高速開通やストック効果等をパネル展示で情報発信・啓発)
- ◎最終日の3月29日(日)しんまちボードウォークで抽選

3月29日(日) 9:00-15:00

しんまちボードウォーク(徳島自動車道[徳島IC]より約10分)

★ホテル洋食料理長がつくった福しめオムライス
提供: 阿波観光ホテル(徳島市一幸町)



★田岡千世子プロデュース しいたけご飯と阿波産のオムライス
提供: とくしまマルシェHOME(徳島市東船場町)



参加者 約5千人!

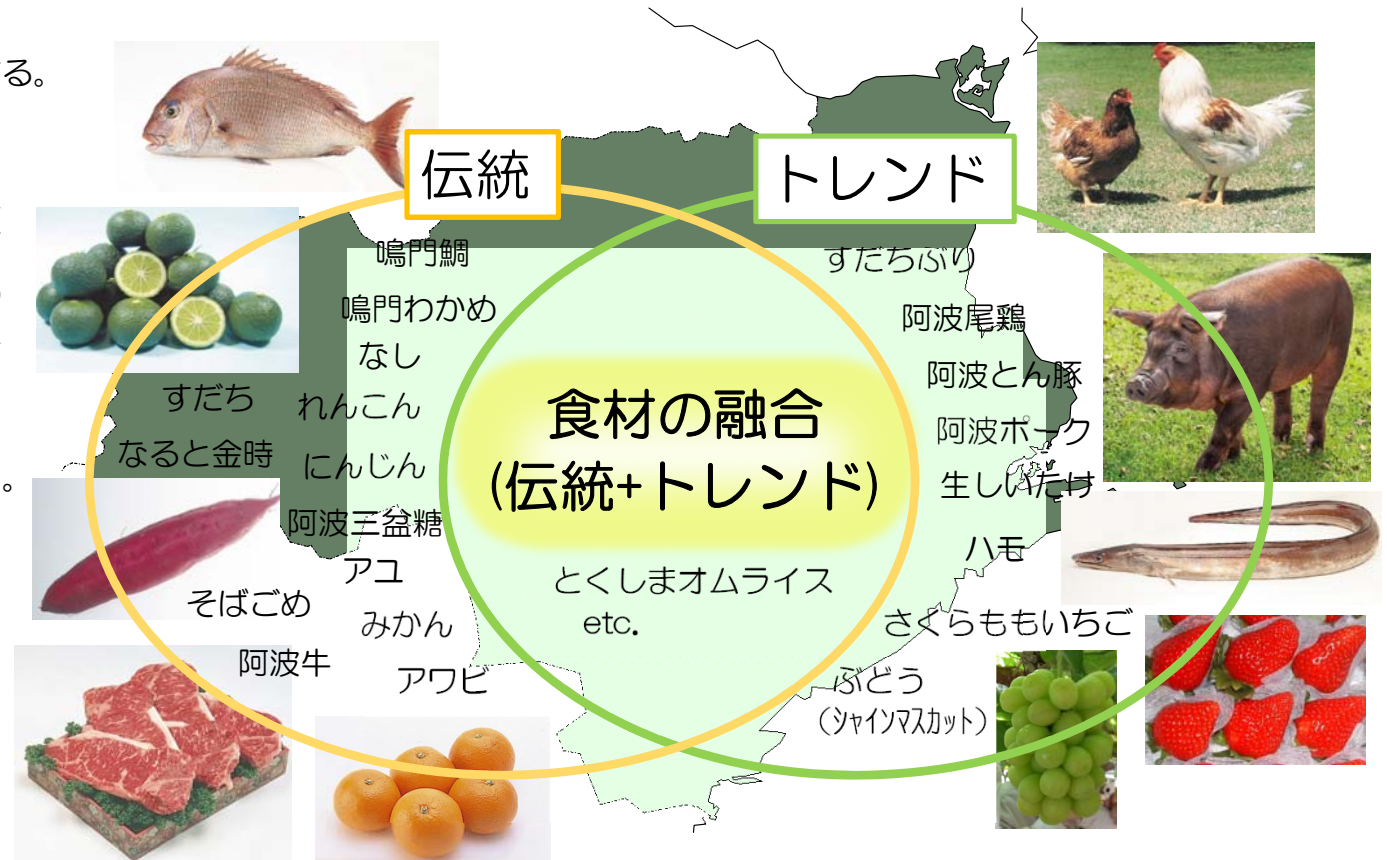


食文化の調査・発信について

○取り組みの方針

- ・伝統ある食材、トレンド食材を調査する。
- ・伝統とトレンドの分類は、大鳴門橋30周年記念を参考に、30年前を基準にして、以前、以後で食材を分類
- ・パネル展等を開催することで、各県の伝統とトレンド食材の情報発信、情報共有を図る。
- ・今後、伝統とトレンドを融合させた新たなメニューの模索につなげていく。

『伝統ある食材、トレンド食材の分類』



新たな食文化の発信（伝統とトレンドの融合）【徳島県】

『とくしまオムライス』

★コンセプト

- ・徳島県産の食材を使った「**Made in とくしま**」の創作オムライスを開発。
- ・開発者がレシピを携えて実演販売することで、効果的に情報発信。
- ・イベントを皮切りに**新たな食文化「とくしまオムライス」**を全国に発信。

★「とくしまオムライス」のレシピ基準

- ・卵は白い卵黄と、黄色い卵黄の2種類をポーチドエッグとして使用する。
- ・必ずライスを使用する。（味付けは自由）
- ・徳島の食材をふんだんに使用する。

★オーガニック野菜とチキンのオムライス 提供：ピッツェリアカフェ グラーノ（徳島市）
★カルボナーラ風オムライス「オムカルボ」 提供：Fiotto（徳島市寺島本町）
★ひき肉と「じいじいのきのこ」オムライス 提供：Bar & restaurant Anji（徳島市東大工町）



★金時豚のトンポーロ・オムライス 提供：cafe & bar NOLO（徳島市秋田町）
★ホテル洋食料理長がつくった嬉し涙かしオムライス 提供：阿波観光ホテル（徳島市一番町）



★田岡千世子プロデュース しいたけご飯と阿波尾鶏のオムライス 提供：とくしまマルシェHOME（徳島市東船場町）



『新たな融合メニュー』

【今後の展開】

今後、新たな
融合メニューを
模索していく！

H27は、各県の伝統、トレンド食材の
パネル展を実施。（調査・発信）



各県の融合メニューによる
グルメフェア開催（H28～）



食文化の発信と伝承

【連携取組】あつまれ「四国のへそ」とくときフェア

取組の概要	【取組の概要】 ○「四国のへそ」吉野川ハイウェイオアシスに、いつもは徳島市内で開催している「徳島マルシェ」と県内の「道の駅」名産品を一同に参集する。 ○県外の「道の駅」の関係者にも声をかけ、環瀬戸内海地域の交流の場を設ける。 ○会場での完結型ではなく、環瀬戸内海地域の各種イベント参加（徳島マラソン、淡路花博他）に、結びつくような仕掛け（スタンプラリー等）を展開。 【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】 ○各主体の既存の取組 ・徳島マラソン 2015 1万人規模に拡大 平成27年3月22日開催【徳島県】 ・淡路花博 2015・花みどりフェア 平成27年3月21日から平成27年5月31日まで開催【淡路花博15周年記念事業実行委員会・兵庫県】 ・大鳴門橋開通30周年記念事業【徳島県・兵庫県】 ・四国地区「道の駅」スタンプラリー2013～2014 〃 アイスcream選手権 【四国地区「道の駅」連絡会】
取組の内容	◇あつまれ「四国のへそ」とくときフェア（仮称）の開催 ・環瀬戸内海地域（兵庫県・岡山県・広島県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県）の協力可能な「道の駅」等の自慢の逸品が参集するフェアを開催し、環瀬戸内海地域における食文化の情報発信をするとともに、平成27年3月に開通した徳島自動車道の全通効果を実感。 ◇神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施 ・海峡「食のダービー」や「食のおもてなし」など食を中心にした広報事業を実施。
取組の進捗状況	◇あつまれ「四国のへそ」とくときフェアの開催 平成27年3月15日吉野川ハイウェイオアシス ・愛媛県と香川県からB級グルメ出店 ・新B級グルメ「とくしまオムライス」企画 ・フェアの継続的に開催が出来るよう検討 ・今後の食文化の発信・伝承に向けて、各県の伝統ある食材、トレンド食材の調査・発信（パネル展の開催）を検討 ◇神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施 ・おどる宝島パスポート（参加施設：飲食店等）の特典付きサービスによる兵庫県・徳島県の連携 大鳴門橋開通30周年記念 徳島・淡路周遊キャンペーンの実施（H28.2.29まで） 食のブランド海峡ダービー等で徳島県、兵庫県の魅力を発信 ・さらに、高速道路利用による特典も追加 徳島自動車道開通記念 徳島の高速に乗って降りてイイコトいっぱいキャンペーンの実施（H27.9.30まで）

取組内容及び取組主体	H26年度	H27年度	H28～	目 標
	(ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります)			
◇あつまれ「四国のへそ」とくときフェア(仮称)の開催 【取組主体】 兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、中国地整、四国地整(今後調整)				○H26年度末の徳島自動車道の開通に併せて、とくときフェアを開催し、食の情報発信を推進。 ○H27年度以降も、兵庫県と連携した取組を強化し、交流人口増加目標の達成を目指す。 評価指標 ◆イベント参加者数 ◆徳島自動車道、本四高速交通量
取組に関する当面の目標	○平成27年度内の目標 ◇あつまれ「四国のへそ」とくときフェア(仮称)の開催 ・食文化の発信・伝承に向けて、各県の伝統ある食材、トレンド食材を調査・発信(パネル展の開催) ・フェアを継続的に出来るよう検討し、平成28年春頃のパネル展開催を目指す。 ◇神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施 ・花みどりフェア淡路花博の成功を目指す⇒開催 ・大鳴門橋開通30周年記念事業の成功を目指す⇒徳島・淡路周遊キャンペーン実施中 - さらに、食のブランド海峡ダービーや2橋まるごとウォークツアー等で徳島県、兵庫県の食をPR ○平成28年度内の目標 ◇引き続き、食文化の発信・伝承に向けて、各県の伝統ある食材、トレンド食材を調査・発信(各種イベントに合わせてパネル展等の開催) ◇フェアを継続的に開催出来るよう調整(平成28年度の開催を予定)			
取組に関する課題・問題点	○取組に関する課題・問題点及び対応(案) ◇あつまれ「四国のへそ」とくときフェア(仮称)の開催 ・環瀬戸内海地域における参加者の拡大 ◇神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施 ・兵庫・徳島県以外での連携できることの模索			
主担当 副担当	徳島県 兵庫県			

協議会で実施する情報発信について

取組の概要

- 協議会サイトを開設し、各種取り組み情報を発信するとともに、関連団体とのリンクにより広域な情報発信
- 取組カレンダー、イベントマップ等によるPR

協議会サイトの開設

○開設するサイトのイメージは、協議会の紹介、協議会の取り組み、リンク集等により構成

協議会の紹介

協議会紹介、協議会開催状況、協議会資料 等

協議会の取組

テーマ毎の取組を紹介（詳細は関係団体HPリンク）

環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興

取組例：環瀬戸内マルゴト自転車道（仮称）

（サイクリングコース、イベント等紹介）

瀬戸内海の「海」の魅力の発信

取組例：瀬戸内海国立公園ウォーク（仮称）

環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化

取組例：歴史的遺産のネットワーク構築とPR（仮称）

環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承

取組例：あつまれ「四国のへそ」とくときフェア（仮称）

リンク集

関係団体HP等へのリンク

取組カレンダー、イベントマップ等によるPR

○取組毎のイベントカレンダーやイベントマップ等を定期的に作成して情報発信。

- ・取組カレンダー、イベントマップ等は、テーマ毎の担当が中心となり作成、発信する体制を構築
- ・担当する取組を中心に、同時期に実施する他のイベント等の追加情報も発信できるよう担当間での密接な連携
- ・より広域的な情報発信のため、インバウンドを意識し、多言語表記なども実施

○情報発信の媒体については、協議会サイト、各県アンテナショップ、SA・PA、道の駅等を活用して積極的に発信



アンテナショップ
（せとうち旬彩館）



SA・PA
（淡路SA）

○情報発信などの広報については、環瀬戸内海地域交流促進協議会内で連携し、サイトの運営、リーフレットの作成等の発信を実施

協議会サイトのイメージ

協議会サイトTOP



取組(スポーツ)



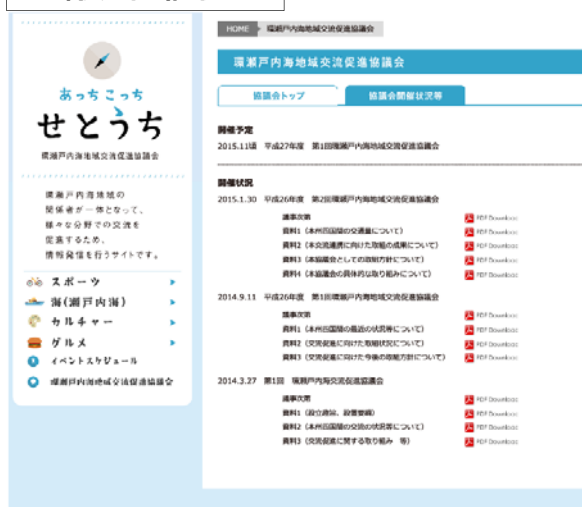
取組(歴史)



協議会紹介ページ



協議会開催状況



関係機関リンク

